

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	感染症予防対策			事業番号	011-229
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	目標値	—	目標値	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 11 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠						
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律							

事業の概要

5	事業の実施主体					
本庁						
6	事業の対象				対象数	単位
堺市民 808,404人（R6.4.1現在）				808,404	人	
7	事業の目的					
様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、子どもや高齢者の健康維持を図る。						
8	事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・1 から5 類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ・ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 ・市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 ・性感染症について、各保健センターや保健所での検査及び啓発事業を実施する。 ・その他日々発生する感染症の発生動向を注視し、国や大阪府と連携しながら適切な感染対策事業に取り組む。 						
※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先					
一般社団法人 堺市医師会ほか						
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
11 1、2、3類感染症、麻しん及び風しんの集団発生件数	件	目標値	0	0	0	0
		実績値	0	0		
		達成率	—	—		
		当該指標を選定した理由	疫学調査で感染拡大を防止することのできる感染症の集団発生件数を指標とすることにより、事業目的の達成状況を把握するため。			
目標値の設定根拠・算出方法		疫学調査により感染拡大を防止することが事業目的であるため。				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	
12 疫学調査実施率	%	目標値	100	100	100	
		実績値	100	100		
		達成率	100%	100%		
		当該指標を選定した理由	疫学調査を実施することで感染症の感染拡大を防止することができるため。 ※令和6年度疫学調査実施件数：198件			
目標値の設定根拠・算出方法		感染拡大防止のためには、対象となる感染症の全ての症例について疫学調査を実施することが必要であるため。				

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	感染症予防対策	事業番号	011-229
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	4,478,457	914,171	132,467	43,669	95,336
13 財源内訳					
国支出金	1,718,451	314,568	90,154	26,184	63,102
府支出金	1,392,520	257,944	0		0
市債	0	0	0		0
その他 ()	0	0	0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
一般財源	1,367,486	341,659	42,313	17,485	32,234
14 人件費 (b)	244,800	168,600	65,800	65,800	53,400
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	4,723,257	1,082,771	198,267	109,469	148,736

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R6 決算
16 事業費内訳	肝炎ウイルス検査業務	R6 決算	35,605	12,462	感染症診査協議会委員報酬	R6 決算	0	0
		R7 予算	35,889	12,562		R7 予算	160	0
	肝炎ウイルス検査パンチ業務	R6 決算	38	38	謝礼金	R6 決算	0	0
		R7 予算	49	49		R7 予算	824	449
	手数料	R6 決算	1,836	1,000	印刷製本費	R6 決算	296	148
		R7 予算	5,030	2,649		R7 予算	300	150
感染対策指導業務	R6 決算	1,594	798	新型コロナ対策経費	R6 決算	1,913	957	
	R7 予算	2,725	1,363		R7 予算	45,702	12,231	
消耗品費	R6 決算	1,684	1,393	その他 (郵便料等)	R6 決算	703	689	
	R7 予算	1,556	944		R7 予算	3,101	1,837	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		令和5年度	令和6年度
① 肝炎ウイルス検査受検者数	人	5,001	4,987
② 上記①にかかる年間経費	千円	35,187	35,605
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,036	7,140
算出についての説明等		②は肝炎ウイルス検査業務の委託料	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>性感染症の対策については、関係性の深いHIV／エイズと同時に啓発を行うことで、単独で実施する場合と比較し費用対効果を高めることができた。</p> <p>また、肝炎ウイルス検査の委託料に関して、健診と同時に実施する場合（採血にかかる費用や診察料の積算が単独で実施した場合と比較し安価になる）等の適切な単価を設定していることで、効果的な検査を実施することができている。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>疫学調査の必要な感染症に対して確実に調査を実施することは、感染対策において極めて重要なことである。令和6年度においても疫学調査実施率を100%に保ち、接触者の健診や就業制限等の措置を適切に講じたことで、二次感染、三次感染を未然に防ぐことができた。</p>
----	--